

科目コード	R7030	科目名	高齢期作業療法学演習				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	宮崎 洋幸・渡邊 哲也						
授業の概要	高齢期作業療法学で脳機能、身体、精神に関する知識を統合する力を養い、これらについて演習をとおして、学びを深める。参加型の演習を実施する。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
到達目標	高年齢期における作業療法法の目標設定ができる。 高年齢期の対象者について、評価・観察項目を選択することができる。						
履修上の注意事項	実際場面を想定した事例を用いた演習をグループで実施します。欠席をしないよう体調管理をしてください。受講態度として、許可のないスマートフォンの使用を禁止とし、授業に関係のない私語や居眠りを慎んでください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション 高齢期作業療法法の介入概論【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	2	高齢者の評価演習 観察(居室・ADL・APDL)・面接【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	3	高齢者の評価演習 MMSE・HDS-R【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	4	高齢者の評価演習 SDS・バラチェック老人行動評定尺度・STAY など【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	5	福祉用具と日常生活支援演習 家屋改造【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	6	福祉用具と日常生活支援演習 離床と広義のシーティング【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	7	福祉用具と日常生活支援演習 ノーリフト介助と福祉用具の活用1【宮崎・池田・大前ほか】				体験レポート作成(60分)	
	8	福祉用具と日常生活支援演習 ノーリフト介助と福祉用具の活用2【宮崎・池田・大前ほか】				体験レポート作成(60分)	
	9	症例検討 情報収集と評価【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	10	症例検討 統合と解釈・レジメの作成【宮崎】				受講シート・課題レポート作成(60分)	
	11	認知症高齢者に対する接し方【渡邊】				課題作成(60分)	
	12	認知症ケアメソッドの活用【渡邊】				生活の中での介入技術の活用(60分)	
	13	認知症ケーススタディ 情報収集と評価計画【渡邊】				レポート作成(60分)	
	14	認知症ケーススタディ 評価と介入【渡邊】				レポート作成(60分)	
	15	認知症ケーススタディ 課題分析と目標設定【渡邊】				レポート作成(60分)	
成績評価方法	期末に提起するレポート課題にて評定します。(宮崎60%・渡邊40%)。また、双方6割以上の獲得で単位評定をします。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者(出版社)					ISBNコード	
	老年期の作業療法 改訂第3版・浅海奈津美 他(三輪書店)					978-4-89590-638-8	
	ひとと集団・場 新版・山根寛(三輪書店)					978-4-89590-615-9	
参考書	認知症の作業療法・小川敬之 他(医歯薬出版)					978-4-263-21334-6	
	知的検査の手引き・大塚俊男 他(ワールドプランニング)					987-4-948742	
教員からのメッセージ	課題を通して、評価やプログラム立案のプロセスを理解してください。課題の作成に関する疑問点、不明点は積極的に質問をしてください。						
教員との連絡方法	メール：miyazhiroy@hcu.ac.jp(宮崎) watanabe777@hcu.ac.jp(渡邊)						
実務経験のある教員	池田充宏先生、ほか；日本基準寝具株式会社にて在宅介護・通所サービスの統括責任者として、対象者の対応はもとより部署の管理・運営に携わっている。福祉用具普及事業の一環として、各所を回り、講習会の開催をしている。「抱えない介助方法」「福祉用具の有効な活用方法」について実務的にも精通している。						